

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660050	__ 001
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	アートライブ・ウエルカム！アーティスト					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	アートライブ・ウエルカム！アーティスト実行委員会	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	子どもたちが文化芸術を体感できる機会の充実と文化芸術を担う人材の育成を図る。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市出身、あるいはゆかりのある全国的に活躍する芸術家の地元での発表機会を提供し、パフォーマンスを交えながら子どもたちにアーティストの情熱や生き方等を語り伝える。					
事業の 対象	何を	アーティストの発表の場及び児童・生徒との交流				
	誰に	市内の小中学生				
	どのくらい	市内の小学校47校、中学校25校を3年間で一巡する。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	520	16	711	22	700	22
パートタイム会計年度任用職員A	1,185	115	1,133	110	1,111	110
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,705	131	1,844	132	1,811	132

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		2,034	1,999	2,282
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	2,034	1,999	2,282
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,034	1,999	2,282

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	3,739	3,843	4,093

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	2,034	1,999	1,000
計(F)	2,034	1,999	1,000

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	1,705	1,844	3,093

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市内の小中学生	市内の小中学生	市内の小中学生
受益者数	5,887	4,721	5,061
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	290	391	611

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	発表の場・学校数		単位	組・校
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	24・24	26・26	25・25	
実績値	22・22	22・22	24・24	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	受講児童・生徒数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	7,063	6,517	6,266	
実績値	5,887	4,721	5,061	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	令和2年度に実施した岐阜市文化芸術に関する市民意識調査において「子どもたちが文化芸術を体感できる機会が必要」との結果が出ており、市民・社会のニーズに合っている。 市内の小中学生を対象に実施するとともに、地元アーティストの活躍の場を拡充する側面もあるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	5,000人以上の小中学生の受益者があり、子どもたちが文化芸術を体感できる機会を創出しており、効果は高い。 市内の小中学校を通じて、学校が希望し依頼した地元アーティストの協力のもと、多くの小中学生へ文化芸術が提供されており、効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	教師のアンケート結果においても大変好評であり、児童・生徒の感想からも本物の文化芸術に触れた感動やアーティストの考えなどを聞くことで新しい発見を得られるなど、満足度も高いため、期待した効果が得られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	3年間毎に全小中学校を一巡して、全ての小中学生が在学中に一回は受講できるようにしている。コロナ禍の影響もあり、全校生が参加できない場合は、複数回の公演にするなど対策を講じる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	学校教育と連携して子どもたちが文化芸術を体験できる機会の充実を図るとい「岐阜市文化芸術推進基本計画」の施策の方向に合うものであり、地元アーティストの活躍の場を広げ、未来への投資と考えられるとともに、今後岐阜の文化芸術を担うアーティストの育成にもなるため、現状維持すべきである。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 002

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市民芸術祭実行委員会	
開始・終了年度	昭和	63	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市で活躍する芸術文化団体または個人の優れた活動及び伝統芸能を多くの市民が鑑賞できる機会を作り、岐阜市の芸術文化の高揚を図る。					
内容 (手段・手法など)	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門ごとに、市内の舞台芸術団体または個人が公演を企画、実施する。					
事業の 対象	何を	岐阜市民芸術祭				
	誰に	参加者(出演者及び入場者)				
	どのくらい	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた邦楽部門を復活させた。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	258	8	318	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	258	8	318	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		3,198	5,133	6,433
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	3,198	5,133	6,433
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,198	5,133	6,433

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,361	5,391	6,751

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,361	5,391	6,751

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者、観覧者	参加者、観覧者	参加者、観覧者
受益者数	981	2,114	3,499
受益者負担額(千円)	2,641	7,703	9,901
受益者負担率(%)	78.6%	142.9%	146.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,426	2,550	1,929

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	公演日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	31	31	31	
実績値	8	13	31	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	出演者数・観覧者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	400・5,600	400・5,600	490・5,000	
実績値	88・893	136・1,978	313・3,186	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	舞台芸術活動の創造により市の文化芸術の振興を図ることを目的としている。新型コロナウイルス感染症の影響で公演の一部が中止や延期となったが、例年5,000人以上が鑑賞し、鑑賞機会の提供に貢献している。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図ることを目的としており、岐阜市の文化芸術の振興のため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	新型コロナウイルス感染症の影響により公演の一部が中止や延期となったが、約3,500人の受益者があり、多くの発表及び鑑賞の機会を創出しており、費用対効果は高い。 市民の舞台活動の発表の場であり、市民が主体となって舞台芸術の創作を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	アーティストの舞台芸術発表の場を多く創出することができており、市民が身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、取り組めるような環境づくりに寄与している。また、演劇においては、聴覚障がい者が楽しめるようにウェアラブル端末を導入したり、動画配信をするなど鑑賞機会を充実させている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	行政負担以外に各部会の参加者負担金及びチケット収入があり、それが事業費の約半分を占めており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術活動に参加したい人の中で、約3割強が「音楽」、約2割が「演劇・踊り」に興味を示しており、様々な舞台芸術を創出し、鑑賞する機会を提供する本事業は、市民の文化芸術の振興に寄与し、岐阜市文化芸術推進基本計画に合致する事業であり、現状を維持すべきである。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(美術展覧会)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市美術展覧会実行委員会
開始・終了年度	昭和	23	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	美術を愛好する市民に広く発表の機会と場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通して市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てる。					
内容 (手段・手法など)	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門について、作品を公募・審査して、優秀作品を展示し、表彰する。					
事業の 対象	何を	岐阜市美術展覧会				
	誰に	参加者(応募者及び入場者)				
	どのくらい	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	コロナ感染防止のため来場を控える方や遠隔地に在住する方でも鑑賞できるように、360度カメラによる展示風景のWeb公開を実施。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	258	8	318	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	258	8	318	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		550	811	5,633
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	550	811	5,633
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		550	811	5,633

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	713	1,069	5,951

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	713	1,069	5,951

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	出品者・来場者	出品者・来場者	出品者・来場者
受益者数	0	0	2,909
受益者負担額(千円)	0	0	581
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	9.8%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	2,046

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	作品の審査回数・発表の場及び鑑賞可能日数		単位	回・日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1回・9日	1回・9日	1回・10日	
実績値	—	—	1回・10日	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	応募者数・観覧者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	450・3,500	450・3,500	450・3,500	
実績値	—	—	370・2539	
達成状況	—	—	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	70回を超える事業であり、多くの来場者に鑑賞してもらい、美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てており、必要性がある。 発表の場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通じて、市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てることを目的としており、公共性があり市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の発表の場として適切な出品料を徴収する一方、入場料を無料とすることで多くの方に鑑賞できる機会を提供できており、費用対効果が高い。 市民協働で、企画運営しており、更にボランティアを募集し活動している。また、作品の中には広域からの応募もあり、様々な芸術作品を鑑賞できる機会を創出している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	多くの来場者に鑑賞できる機会を提供し、岐阜市美術展覧会を周知することができ、高い効果を得られている。また、市美展を目的に来場していない利用者も鑑賞できており、身近なところで気軽に文化芸術を親しむ機会が創出されている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市は出品料を有料としている。岐阜県美術館のぎふ美術展や他市も有料としているが、他市の一部は無料としている。市民から広く作品を募集する本事業においては、受益者負担の観点より適正であると考える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術分野の中で、絵画、書、工芸、写真などを鑑賞、活動している人が多く、市民の「美術」への関心度が高いため、本市の文化芸術を推進する基幹事業として、文化芸術の発表の場の創出及び鑑賞の場の提供に貢献している。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660050	—	004
----	---------	---	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(文芸祭)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市文芸祭実行委員会
開始・終了年度	昭和	40	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	一般の部では、短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンル、小・中学生の部では、創作、詩、短歌、俳句、川柳の5ジャンルについて、広く市民から公募し、優秀作品を展示するとともに作品集を出版している。					
事業の 対象	何を	岐阜市文芸祭				
	誰に	参加者(応募者及び入場者)				
	どのくらい	一般の部9ジャンル、小・中学生の部5ジャンル				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	325	10	323	10	318	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	325	10	323	10	318	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,733	1,664	1,733
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	1,733	1,664	1,733
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,733	1,664	1,733

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,058	1,987	2,051

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,058	1,987	2,051

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	応募者・観覧者	応募者・観覧者	応募者・観覧者
受益者数	7,044	6,191	7,399
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	292	321	277

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	審査回数・鑑賞日数		単位	回・日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2・11	2・11	2・11	
実績値	2・14	2・11	2・12	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	応募者数・観覧者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6,000・3,000	6,000・3,000	5,400・2,600	
実績値	6,196・875	5,391・800	5,799・1,600	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	昭和40年から続く事業で毎年多くの応募があり、市民の中に浸透し、文芸創作活動の意欲を高めている。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上に貢献するとともに、岐阜市の文化芸術の振興を図ることを目的としており、公共性があり市を含む実行委員会が実施すべきである。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出品料を無料にすることで平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えている。また、入場料が無料だからこそ多くの来場者が作品に触れることができるため、費用対効果を高めている。 文芸祭の審査員には、岐阜市文芸祭実行委員会より選出された各ジャンルに精通している岐阜市及び近隣居住の専門家に協力していただき、市民協働で開催している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えるとともに文芸を発表する場を提供できている。また、小・中学生の部を実施することにより未来を担う子どもたちが文芸に触れられる機会の提供に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	文芸祭には、一般の部(短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンル)及び小・中学生の部(創作、詩、短歌、俳句、川柳の5ジャンル)があり、幅広いジャンルの中から大人から子どもまで応募できる環境が整えられており、公平性が保たれている。また、文芸に気軽に触れ多くの参加を促すには現状が適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術活動をした14.5%の人が「文芸」の分野で活動しており、また、小中学生では、約半数が鑑賞することが好きな分野として「文芸」を挙げている。一般の部、小・中学生の部があり、幅広く応募できる環境が整えられており、文芸に気軽に触れ多くの参加を促すには現状が適正である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 005

【1.基本情報】

事業名	長良川薪能				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	長良川薪能実行委員会
開始・終了年度	平成 元 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	優れた芸術を鑑賞することにより、市民の芸術文化に対する関心を高め、市民とともに文化創造の活性化を図る。				
内容 (手段・手法など)	清流長良川と金華山・岐阜城を背景に、鶺舟のかがり火から火入れを行う全国で唯一の薪能。毎年一流の演者が河原の舞台で演じる。				
事業の 対象	何を	薪能			
	誰に	市民および観光客			
	どのくらい	1,300人			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	事前申込制により観覧者を募集(R3は開催中止)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,625	50	2,423	75	3,180	100
パートタイム会計年度任用職員A	258	25	381	37	505	50
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,883	75	2,804	112	3,685	150

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		0	5,717	11,526
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	0	5,696	11,523
	使用料	0	16	3
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		0	5,717	11,526

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,883	8,521	15,211

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	333	54
計(F)	0	333	54

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	1,883	8,188	15,157

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	0	112	1,000
受益者負担額(千円)	0	0	17
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	73,104	15,157

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	鑑賞機会・体験機会・活動回数			単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	—	2・4・12	2・4・6		
実績値	—	1・—・3	3・4・5		

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	観覧者数・体験者数・サポーター参加者数			単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	—	1,360・10・40	1,300・35・40		
実績値	—	77・—・35	1,000・13・30		
達成状況	—	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	長良川、金華山、岐阜城を背景に、鶴舟の篝火からもらい受け火入れを行うなど、他市では真似のできない薪能で、豊富な歴史資産の中で伝統文化を鑑賞することにより市民にシビックプライドを再認識する機会を創出するとともに伝統文化への関心を高めている。 上記理由から、魅力的な観光資源にもなっており市民・社会のニーズに合っている。 伝統文化の普及・発展のために、一流の能楽師や狂言師による舞台を観客が無料で鑑賞できる機会を提供するためには、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	一流の演者に出演していただき、岐阜の観光資源である清流長良川、金華山や歴史資産を活用し、河川敷で実施するためには出演料と会場整備費が必要である。 クラウドファンディング等を活用しつつ、今後の財源の在り方を検討する必要がある。 岐阜青年会議所の協力を得るとともに、ボランティアを活用し、市民協働で実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	長良川河川敷の特設会場で開催することで他の興行と差別化をはかり、市民及び観光客が来場しているほか、子供から高齢者までの市民が古典芸能に触れる機会を継続して設けていることから文化芸術振興の効果が認められる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	入場料を徴すると、設置した座席以外から見られないようにするなど更なる費用が発生するほか、演者の出演料が上がるため、現状より事業費が増加する。クラウドファンディングによる寄附金や協賛金を活用した受益者負担について、検討する。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	長良川、金華山、岐阜城、鶴飼のある特別なロケーションで、市民に一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供し、それに対する関心・理解を深め、伝統芸能を鑑賞する人、活動する人、支える人の増加につなげる文化芸術振興に重要な役割を果たしている。 クラウドファンディング等を活用しつつ、今後の財源確保などの事業のあり方について、検討する必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 006

【1.基本情報】

事業名	さんぽde野外ライブ					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	さんぽde野外ライブ実行委員会	
開始・終了年度	平成	26	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の演奏発表の場を提供するとともに、中心市街地を散策しながら誰もが気軽に様々なジャンルの音楽に触れられる機会を創出し、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめとした中心市街地に文化によるにぎわいの創出を図る。					
内容 (手段・手法など)	一般公募アーティストによるライブを「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめとした中心市街地の複数会場で実施する。					
事業の 対象	何を	さんぽde野外ライブ				
	誰に	市民				
	どのくらい	年1回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	「ぎふ信長まつり」と同日開催となり、会場や広報等調整した。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	3,230	100	4,770	150
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	206	20	202	20
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	3,436	120	4,972	170

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		0	2,255	2,292
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	0	2,255	2,292
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		0	2,255	2,292

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	163	5,691	7,264

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	163	5,691	7,264

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	出演者及び来場者	出演者及び来場者	出演者及び来場者
受益者数	0	1,282	1,337
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	4,439	5,433

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加組数・開催日数		単位	組・日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	45・3		30・3	30・1
実績値	—		36・1	42・1

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数・観客数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	225・1,000	150・1,000	190・1,200	
実績値	—	194・1,088	237・1,100	
達成状況	—	○(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の芸術活動発表の場の創出を図っており、令和4年度は30組の募集に対して58組の応募と多数の応募団体があることから、必要性がある。 中心市街地のにぎわい創出に寄与するとともに、誰もが気軽に音楽に触れることのできる場を提供することで、広く文化芸術の醸成を図ることができるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 ぎふ信長まつりに「音楽・ダンスステージ」があり、それとの棲み分けを検討。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年、多くの団体から応募があり、市民の芸術活動発表の場として定着しつつあり、令和4年度は1,100人と多数の来場者がいることから、効果が高い。 当日は運営にボランティアの協力を得て、市民協働で実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	ぎふメディアコスモスや柳ヶ瀬界限で野外ライブを開催しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与しており、市民が発表する場として機能するとともに様々なジャンルの音楽に触れる機会が提供できていることから文化芸術振興の効果が認められる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	出演者を募集し、無料で発表の場を設けているため、誰もが気軽に参加することができる。また、野外で無料のライブを幅広い市民が鑑賞できるため、公平性も高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くなっていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、振興が必要な分野に「音楽」を挙げる人が多く、市民の文化発表の場の創出を図るとともに、様々なジャンルの音楽に触れる機会を提供する場として継続する。また、市民の芸術発表の場の提供や文化による賑わい創出について、「ぎふ信長まつり」と実施方法の調整を図る。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660050	—	007
----	---------	---	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜文化再発見民話ライブ					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜文化再発見実行委員会	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場として、地域に伝わる民話を、コンサート等の芸術家によるライブ公演とともに市民に紹介し、地域文化を再発見、再認識してもらう。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財において、その地域にまつわる民話の朗読と、地元ゆかりのあるアーティストとのコラボレーションで開催する。					
事業の 対象	何を	次代に残したい岐阜市にある伝統的建造物や文化財と、地域に伝わる民話、音楽などの芸術				
	誰に	市民				
	どのくらい	民話ライブを年間5ヶ所で開催				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	98	3	163	5	163	5
パートタイム会計年度任用職員A	2,060	200	2,060	200	2,060	200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,158	203	2,223	205	2,223	205

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		580	958	939
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	580	958	939
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		580	958	939

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	2,738	3,181	3,162

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	2,738	3,181	3,162

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	97	156	187
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	28,227	20,391	16,909

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開催場所・出演者数		単位	カ所・人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	8・15		5・15	5・15
実績値	3・11		5・26	5・21

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	応募者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	600		250	250
実績値	161		239	268
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	伝統的建造物や文化財など、普段行かない、個人ではなかなか入れないような場所での開催により市民が地域文化を再発見できる機会を提供するほか、文化施設以外で芸術に触れる機会を提供しているため、必要性が高い。 岐阜市の地域文化への理解を深めることは、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出演料や会場費を要するが、伝統的な建物等を維持する為の協力費としての側面もあり、その場所でしか味わえない雰囲気を体験するためには妥当である。 岐阜市内の伝統的建造物や文化財を会場に使用し、岐阜市に伝わる民話の朗読や建物の説明等を行うことから市と芸術文化協会とで実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	市内に残る伝統的建造物等で民話ライブを鑑賞することにより、岐阜に伝わる民話など地域文化を伝承している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	開催場所の収容人数により参加者数に限りがあるが、当日の様子をYouTubeで後日アーカイブ化して岐阜市のホームページに掲載したりすることで、視聴できる機会を増やす努力をしている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、「伝統的建造物・文化財」の振興が必要と答えた人が多く、市民に地域文化を継承していく機会として、開催場所や内容を工夫しながら継続する。また、今後幅広い世代に知ってもらうために広報の仕方や開催会場を検討していく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 008

【1.基本情報】

事業名	こよみのよぶね					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	こよみのよぶね実行委員会	
開始・終了年度	平成	18年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、新しい冬の風物詩を創造することを目的としている。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市出身のアーティスト日比野克彦氏の総合監修のもと、毎年冬至の日に、色付けした和紙と竹でつくった大きな数字行灯にあかりを入れ、鶺鴒観覧船の屋根に乗せ長良川に流し、今年を振り返るアートイベント(時を感じる叙情作品)である。					
事業の 対象	何を	こよみのよぶねの行灯制作、イベント				
	誰に	市民				
	どのくらい	数字(暦)をモチーフとした行灯(1から12)と干支の13個の行灯を制作。及び当日の観覧。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	巨大数字行灯を取り付ける鶺鴒の観覧船が減ることにより、1つの船に2つの巨大数字行灯を載せるため、昨年度より運航する船の数が少ない。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	16	1	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	101	10	101	10	101	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	101	10	117	11	101	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	500	500	500
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		500	500	500

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	601	617	601

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	601	617	601

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	1,000	1,000	1,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	601	617	601

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加団体数		単位	団体
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	13	13	13	
実績値	13	13	13	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	観覧者数・参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	3,000・2,000	3,000・2,000	2,000・2,000	
実績値	1,000・1,000	1,000・1,000	1,000・1,000	
達成状況	×(未達成)		×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	市内外の各市民団体によって1から12の数字と干支の行灯が様々な年代の方の手作りで制作され、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を次世代へ伝え、披露している観点から必要である。 岐阜市ならではの景観のある金華山の麓を流れる長良川で、鶺鴒観覧船を利用して開催される岐阜市民を中心とした活動であり、子どもから大人まで伝統的な技法に触れるなどの機会となる観点からも、市が支援する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市以外からも負担金や協賛金を集めて運営されており効率性が高い。 市民主体で開始した活動であるが、学校や民間団体等の協力を得ながら制作をしている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	2020年から続く新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、県内各地で約1,000人の市民の手で行灯製作をした。 例年は、岐阜県内外で制作された巨大数字行灯や制作に携わった方々が、イベント当日に岐阜市の長良川河畔、金華山の麓に集結し、約1,000人の人々が集まる岐阜市のイベント、冬の風物詩となっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	こよみのよぶねの制作やワークショップ、当日のイベントは全て無料で誰でも参加できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の冬の風物詩として定着しており、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、継承していく市民主体の活動として支援しながら継続していく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 009

【1.基本情報】

事業名	各種芸術文化団体への補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	文化団体	
開始・終了年度	平成 2 年度 ~	年度	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画 岐阜市文化団体補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市の文化団体を支援することにより、市民の芸術鑑賞の機会を確保し、文化芸術の振興を図る。					
内容 (手段・手法など)	文化芸術の発展及び振興のための事業に係る経費、文化団体の広報活動に係る経費を補助する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	市内の文化団体				
	どのくらい	当該年度の予算の範囲で、補助対象経費の2分の1以内				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	488	15	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	488	15	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,150	1,228	1,102
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	補助金	1,150	1,228	1,102
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,150	1,228	1,102

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,638	2,197	2,056

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,638	2,197	2,056

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	文化団体	文化団体	文化団体
受益者数	4	4	4
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	409,375	549,250	514,000

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,308	1,308	1,308	1,138
実績値	1,150	1,228	1,228	1,102

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	補助文化団体		単位	団体
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	4	4	4	4
実績値	4	4	4	4
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	芸術文化の振興と普及を目的とする文化団体を支援することにより、広く市民への芸術文化の提供がされており、必要性がある。 岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与することを目的としている団体への補助であり、市が実施する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市の文化政策と連携した事業を実施する団体への補助であり、市民への芸術文化の提供のために効率的である。 文化団体を通じて、広く市民への芸術文化が提供されており、効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	市民に対して各団体による様々なジャンルの芸術文化の提供がされており、有効である。文化芸術団体と連携することで、市民の文化芸術活動を推進している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	低	岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与する団体に対し、市民が多様な芸術文化に触れる機会を拡充することを目的としているものの、特定団体への補助金であるため、公平性については改善の余地がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	補助金交付団体の運営状況を鑑みたくえで、補助金減額や交付終了などの処置を進め、市の文化芸術振興において必要不可欠な事業については、運営補助から事業補助への切り替えを進めるなど、補助内容を含めた総合的な検討を行う。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 010

【1.基本情報】

事業名	文化会館施設整備					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	42	年度～	年度	根拠法令・関連計画 文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画 岐阜市文化会館条例・規則	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。					
内容 (手段・手法など)	文化会館(市民会館及び文化センター)の施設整備					
事業の 対象	何を	改修工事				
	誰に	文化会館				
	どのくらい	必要箇所				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,600	80	2,584	80	2,544	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,600	80	2,584	80	2,544	80

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		86,734	31,563	317,102
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	7,271	7,810	36,393
	工事請負費	77,618	22,268	263,768
	備品購入費	429	0	17,095
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		86,734	31,563	317,102

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	89,334	34,147	319,646

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	215	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	18,000	246,200
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	215	18,000	246,200

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	89,119	16,147	73,446

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	75,071	114,976	153,176
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,187	140	479

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	実施工事数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	3		2	6
実績値	7		2	7

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	施設利用者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	300,000	300,000	300,000	
実績値	75,071	114,976	153,176	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	本市の芸術文化の拠点としての役割を維持するため、老朽化に伴い 計画的に整備する必要がある。 市所管施設であり、市が実施すべき。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の円滑な施設利用のため、必要最小限の工事を行っている。ま た、複数工事を同時期に施行することで会館の休館期間の短縮に努 めている。 施設の老朽化や設備の経年劣化状況を考慮した計画を策定し、可能 な限り効率的に修繕している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	施設の老朽化が進んでいるため、市民が安心・安全に施設を利用でき るよう適切な改修等を実施し、予期せぬ故障や事故等の発生を防いで いる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	施設利用者に不便がないよう改修や備品購入を行っている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	両施設とも老朽化が進んでいることから、岐阜市文化会館個別施設計 画に基づき、継続的に改修を行っている。財政的負担の軽減及び平 準化を図るよう今後も計画的な施設整備に努める。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 011

【1.基本情報】

事業名	文化会館指定管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(一財)岐阜市公共ホール管理財団	
開始・終了年度	平成	18	年度～	年度	根拠法令・関連計画 文化芸術基本条例、岐阜市文化芸術基本計画 岐阜市文化会館条例・規則	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。					
内容 (手段・手法など)	文化センター及び市民会館の運営管理及び文化芸術事業の実施					
事業の 対象	何を	文化センター及び市民会館				
	誰に	市民				
	どのくらい	年間約30万人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,600	80	2,584	80	2,544	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	124	12	121	12
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,600	80	2,708	92	2,665	92

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		323,903	338,466	351,786
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	指定管理料	323,903	338,466	351,786
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		323,903	338,466	351,786

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	326,503	341,174	354,451

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	41,522	62,219	74,078
その他	2,688	9,250	12,503
計(F)	44,210	71,469	86,581

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	282,293	269,705	267,870

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	75,071	114,976	153,176
受益者負担額(千円)	44,210	71,469	86,581
受益者負担率(%)	13.5%	20.9%	24.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,760	2,346	1,749

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	指定事業数		単位	事業
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	11		11	11
実績値	7		11	11

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	施設利用者数・両館平均稼働率		単位	人・%
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	300,000・35	300,000・35		300,000・35
実績値	75,071・21	114,976・31		153,176・34
達成状況	×(未達成)	×(未達成)		×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るために、鑑賞型事業、市民参画創造型事業、普及・育成事業を効果的に実施しており、地域文化の拠点施設としての役割を果たしている。 貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有する施設として市が設置している。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	指定管理料や老朽化に伴う施設整備費等に対して使用料等の収入は少ない。 文化芸術事業や活動をコーディネートするノウハウを有する指定管理者が運営を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	いずれも中心市街地という好立地に位置し、様々なシーンに対応できる施設機能を有することから(文化センター:小劇場500席、催し広場2,000席、市民会館:大ホール1,501席)、練習室や会議室などの稼働率も高く、市民の文化の拠点として高い効果を得ている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	使用料等に関しては、周りの施設の状況を踏まえ、引き続き検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充:目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持: 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善:目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止:実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有し、市の文化芸術振興に重要な役割を担っている。ただし、指定管理料に対して使用料等の収入は少ない(受益者負担割合の目標40%に満たない)ことから、収入増、支出減の方策を検討する。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660050 _ 012

【1.基本情報】

事業名	第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭準備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	4	年度～	令和	6	年度 根拠法令・関連計画 国民文化祭開催要綱、障害者芸術・文化祭開催要項、 「清流の国ぎふ」文化祭2024基本構想

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	令和6年度に開催される第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭において、岐阜市で実施する全国文化交流事業、及び地域文化発信事業の円滑な運営を図ることで、岐阜市の魅力を発信するとともに、アフター・コロナ時代の新しい未来の創造につなげる。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市実行委員会を設立し、県実行委員会との連絡・調整、文化芸術団体と連携して実施計画案を策定する等により、第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭の開催準備をする。					
事業の 対象	何を	市実行委員会の設立及び総会開催、先催県調査、実施計画案の策定等開催準備				
	誰に	実行委員会委員、先催市、文化芸術団体、事業参加者				
	どのくらい	総会の開催年1回、先催市調査8都市、実施事業計画案10事業				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	4,134	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	4,134	130

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	218
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	先催市調査に係る旅費等	0	0	132
	消耗品費	0	0	80
	通信運搬費	0	0	6
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	218

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	0	4,352

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	0	4,352

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	—	参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	実施調整を行う事業数		単位	事業
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	10	
実績値	0	0	10	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	実施計画案を策定した事業数		単位	事業
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	10	
実績値	—	—	10	
達成状況	—	—	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	清流がもたらした自然、歴史、伝統、技、文化などをあらためて知り学び、岐阜県の魅力として発信するとともに、アフター・コロナ時代の新しい未来の創造につなげるものであることから、市民・社会のニーズに合うと考える。 国、県、県内全市町村の参加により開催される文化祭であり、県実行委員会から市実行委員会に対して補助をうける形をとるため、必要である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	必要最小限の費用により、事業計画案の策定及び総会の開催ができた。 実行委員会立ち上げ前のため直営で行ったが、今後は、実行委員会及び文化芸術団体に主体的に担っていただくこととしている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	事業計画案が策定でき、関係団体が連携するための実行委員会の開催ができたことから、令和6年度の開催に着実につなげることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者が負担すべき内容は現時点ではない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	開催年度である令和6年度に向け、準備を加速していく。